

医療安全情報 レポート

vol. 1

看護技術を安全に実施するための知識や技術は変化しています。医療・看護安全委員会では、今回から現場に活用できるホットな情報をシリーズでお届けします。

第1回は、採血時における、穿刺血管の選択です。

ここでは、「標準採血法ガイドライン」（日本臨床検査標準協議会出版）等の文献で示されています方法を紹介します。

標準採血法ガイドラインに基づく穿刺血管の選択

目視および指で触れて穿刺すべき血管に見当をつける。

血管の太さ、深さ、弾力性、位置、拍動などの観点からも確認する。

第1選択は、橈側皮静脈〔①〕

第2候補は、肘正中皮静脈〔②〕

第3候補は、尺側皮静脈〔③〕

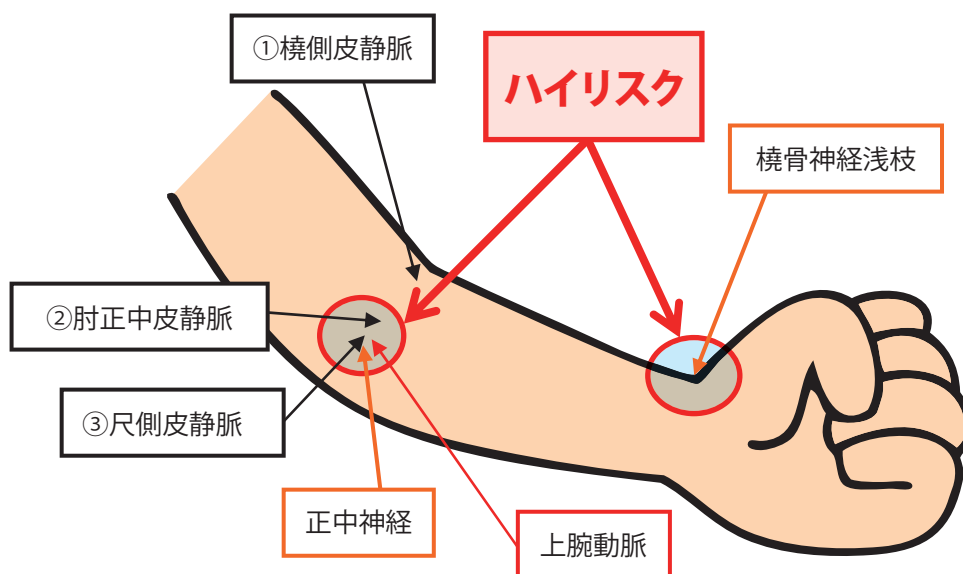
正中神経は、尺側皮静脈および肘正中皮静脈付近を走行していることが多い。

前腕、手背の皮静脈を積極的に使用する。

ただし、**手首の橈側付近の静脈は、近傍を橈骨神経浅枝が走行しているため避ける。**

穿刺は翼状針を使用する。

ハイリスク部分はこちら！



▶ 次回は、採血時の注意をお届けします。